

『深浦円覚寺所蔵古典籍調査報告書』第二集発刊によせて

春光山圓覚寺副住職 海浦 誠観

このたび、『深浦円覚寺所蔵古典籍調査報告書』第二集が刊行されるにあたり、関係各位の御労苦に、衷心より御礼申し上げます。

昨年に引き続き、弘前大学人文社会科学部渡辺麻里子教授の調査グループによる「弘前大学深浦エコサテライトキャンパス円覚寺古典籍保存調査プロジェクト」として、弘前大学・深浦町・深浦町民・木造高校深浦校舎の皆様のご協力により、円覚寺所蔵資料文書の学術調査が行われました。

また、令和元年七月十三日には、弘前大学八甲田ホールで「津軽における寺院資料の世界―深浦円覚寺の古典籍を基点として―」と題した記念講演が、名古屋大学高等研究院阿部泰郎教授、弘前大学教職大学院瀧本壽史教授、渡辺麻里子教授、真言宗津軽仏教会、及び関係各位のご尽力で盛大に行われましたことは、大変ありがたく感謝の言葉もございません。

さらに十月には、日本女子大学永村眞名誉教授が率いる醍醐寺聖教調査団との合同調査と、本山醍醐寺による聖教資料等の撮影が行われました。

このように、一層の調査・解明が成されたことは誠に喜びに堪えません。改めまして関係各位の御労苦御尽力に深く感謝申し上げます。

合掌